

(政務活動費用)

出張報告書

平成29年8月30日

釧路市議会議長 渡辺 慶藏 様

会派名 日本共産党議員団

団 長 松永 俊雄



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

|              |  |
|--------------|--|
| 受 命 者        | 松永俊雄   |
| 出 張 先        | 広島県竹原市   |
| 期 間          | 平成29年8月23日 ~ 平成29年8月25日 (3日間)  |
| 用 務          | Jパワー竹原火力発電所の騒音・振動など環境問題調査  |
| 調査(研修)結果等の概要 | Jパワー竹原火力発電所に隣接する、同市福田町のおよそ30戸を訪問し、火発立地から今日にいたるまでの経過、さらに騒音や振動被害などを聞き取り調査した。 詳細は別紙 |
| 備 考          |  |

- 注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書(原本)とともに会派で保管すること。
- 2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

## □竹原市視察調査報告書(別紙)

8月24日、午前9時に竹原市議会事務局長・住田昭徳氏と面談の上、ただちにJパワー火力発電所に隣接する高台の福田町地区を訪問し、1軒ずつ住宅を訪ねて聞き取り調査した。～

同火力発電所は1号機から3号機まであり、それを新1号機、新2号機に集約している最中です。出力は釧路とは比較にならないほど大きな規模だが、フェンスのすぐ隣が住宅地になっているなど、距離は非常に近い。

約30軒のうち、家人が在宅していたのは10軒ほどだったが、そのうち7軒の住民から直接話が聞けました。発電所そのものの騒音、振動は距離の割には思ったより小さく住民も「気になるほどではない」という方が多かったです。

一方、発電所建設のための用地買収前から住んでいたのは3軒ほどの方からは「当初は窓ガラスがビリビリ震えたり、おおきな影響があった」との話も聞きました。また、「せっかく定年退職して広島から引っ越して家を建てたのに、高台の家から海が見える素晴らしい景観はいっきになくなった。いま見えるのは火発の建物だけ」などの声もありました。

釧路の火発で大きな問題となっているのか燃料輸送トラックによる騒音と振動だが、同か初の立地場所が埋め立てによる港湾地域にあるため、トラックによる住宅地域の燃料輸送がなく、まったくその被害はないとのことでした。

当初は近くをトラックが走ったこともあったが、いまは火発と住民との協議によって住宅地近くの市道は走行しないこととしたため、トラックによる振動、騒音はまったくないとのことでした。

また、住民との協議の中で住宅地に隣接している火発所有地に、火発側が池やテニスコートも配した公園をつくり、集会施設も建設、苦情などに対応する「窓口」もつくられていることを聞きました。最近では、火発から13～20キロも離れた地区で煤塵など待機汚染についての声が上がっていることも聞かされました。

参考に写真も添付します。

平成29年8月24日調査 別紙資料



高台の火力発電所と手前は住宅の屋根

